

大阪港港湾計画資料（案）

— 軽易な変更 —

令和5年11月

大阪港港湾管理者
大阪市

目 次

1	変更理由	1
2	港湾施設の規模及び配置に関する資料	2
2-1	公共埠頭計画	2
2-2	専用埠頭計画	3
3	環境の保全に関する資料	6
4	地方港湾審議会名簿	7

1 変更理由

河川管理者である大阪府が実施する安治川水門の更新に伴い、港地区において公共埠頭計画を変更する。

また、立地企業等の要請に対応するため、南港地区において専用埠頭計画を変更し、西地区において専用埠頭計画を新たに位置づける。

2 港灣施設の規模及び配置に関する資料

2-1 公共埠頭計画

(1) 港地区（安治川内港）

- 概要

1970（昭和 45）年に完成した安治川水門（大阪府管理）の更新に伴い、公共埠頭を変更する。

- 公共埠頭の規模及び配置

公共埠頭を次のとおり変更する。

表 2-1-1 公共埠頭の規模及び配置（今回計画）

物揚場名称	水深 (m)	延長 (m)	備考
安治川左岸物揚場	3	451	既設の変更計画

表 2-1-2 公共埠頭の規模及び配置（既設）

物揚場名称	水深 (m)	延長 (m)	備考
安治川左岸物揚場	3	500	既設

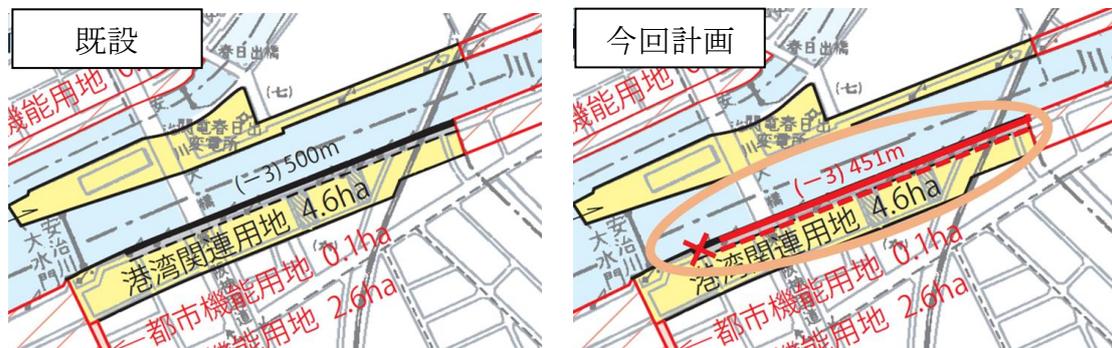


図 2-2-1 公共埠頭計画位置図

2-2 専用埠頭計画

(1) 南港地区 (南埠頭)

・概要

立地企業の要請に基づき、岸壁の一部を廃止するため、専用埠頭を変更する。

・専用埠頭の規模及び配置

専用埠頭を次のとおり変更する。

表 2-2-1 専用埠頭の規模及び配置 (今回計画)

岸壁名称	水深 (m)	延長 (m)	対象船舶 (DWT)	施設の規模及び配置の考え方	備考
南港鉄鋼流通 協同組合岸壁	5.5	276	貨物船 2000	対象船舶が特定できない 場合の標準値により設定	既設の変更計画

表 2-2-2 専用埠頭の規模及び配置 (既設)

岸壁名称	水深 (m)	延長 (m)	対象船舶 (DWT)	施設の規模及び配置の考え方	備考
南港鉄鋼流通 協同組合岸壁	5.5	520	貨物船 2000	対象船舶が特定できない 場合の標準値により設定	既設



図 2-2-2 専用埠頭計画位置図

(2) 西地区

・概要

水都大阪の魅力を今後の大阪観光の柱の一つとして成長させるため、水上交通ネットワークの構築を図り、海と川の結節点として大阪府が整備する栈橋について、専用埠頭（河川）を計画する。

・専用埠頭（河川）の規模及び配置

専用埠頭（河川）を次のとおり計画する。

表 2-2-3 専用埠頭（河川）の規模及び配置（今回計画）

係留施設	基数	備考
小型栈橋	2基	新規計画



図 2-2-3 専用埠頭（河川）計画位置図

・操船例図

新規に計画する専用埠頭（河川）に係る操船例図は、次のとおりである。

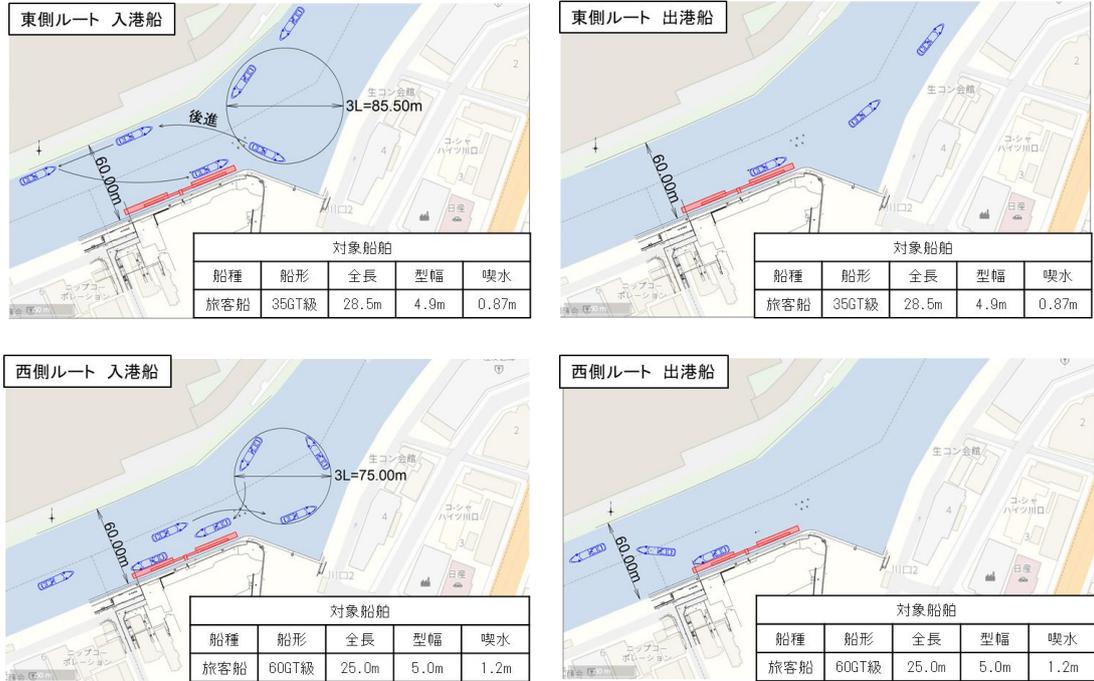


図 2 - 2 - 4 操船例図

3 環境の保全に関する資料

今回計画に伴う環境負荷は軽微であることから、今回計画が周辺環境に与える影響は軽微であると考えられる。

4 地方港湾審議会名簿

(敬称略順不同)

	氏名	補職名
学識経験	田中 康仁	流通科学大学教授
学識経験	今西 珠美	流通科学大学教授
学識経験	吉田 長裕	大阪公立大学准教授
学識経験	酒出 昌寿	水産大学校准教授
学識経験	松尾 俊彦	大阪商業大学教授
学識経験	松島 格也	京都大学特定教授
学識経験	清水 苗穂子	阪南大学教授
学識経験	清水 陽子	関西学院大学教授
学識経験	紅谷 昇平	兵庫県立大学大学院准教授
学識経験	黒坂 則子	同志社大学教授
学識経験	清水 悦郎	東京海洋大学教授
市会議員	森山 よしひさ	大阪市会建設港湾委員長
市会議員	石川 博紀	大阪市会建設港湾副委員長
市会議員	わしみ 慎一	大阪市会建設港湾副委員長
港湾関係	徳平 隆之	公益社団法人大阪港振興協会会長
港湾関係	井内 撰男	大阪商工会議所専務理事
港湾関係	柴山 恒晴	大阪倉庫協会会長
港湾関係	梯 浩之	大阪船主会副会長
港湾関係	西 豊樹	大阪港運協会会長
港湾関係	小嶋 敏弘	大阪港湾労働組合協議会議長
港湾関係	佐藤 宗昭	全日本海員組合大阪支部支部長
港湾関係	岡 修	大阪府漁業協同組合連合会代表理事会長
港湾関係	望月 誠	大阪湾水先区水先人会会長
行政機関	大内 聡	財務省大阪税関長
行政機関	見坂 茂範	国土交通省近畿地方整備局長
行政機関	日笠 弥三郎	国土交通省近畿運輸局長
行政機関	伊藤 卓郎	大阪海上保安監部長
行政機関	谷口 友英	大阪府都市整備部長